

## 令和4年度

## 事業報告書

特定非営利活動法人 地球生物会議

## 1 事業の成果

## ◎動物関連問題についての実態調査、関係機関への意見書や要望書の作成・提出

国内における動物を巡る様々な問題について、環境省等によるワーキンググループや検討会の傍聴、議事次第・資料等から得られる情報や動向、実態調査等をもとに関係機関への意見書や要望書を作成、提出する等、動物福祉の向上につながる調査・要請活動および動物たちを取り巻く環境についての普及啓発活動を行った。

農水省が実施した「畜種ごとの飼養管理等に関する技術的な指針（案）」パブリックコメントにおいては、当会に寄せられた生産者による動物の取り扱いに関する相談内容もさることながら、地方自治体（家畜保健衛生）が生産者に向けて発出している資料を可能な範囲で調査し、注意喚起している臨界温度や推奨している温度等、酷暑期における家畜の死亡状況などの実態を踏まえて意見を提出した。

環境省による犬猫以外の哺乳類及び爬虫類の飼養管理基準の検討にあたり、ヒアリング団体の指名をいただいた。法改正に際しては、当会は犬猫以外の動物の規制についても要望書を提出しているが、それ以降にも行ってきた様々な活動や対応事案、入手した公文書等によって把握し得た実態、情報、知見等をもとに準備をしていた膨大な要望内容を資料としてまとめ、提出した。

## ◎会員や一般市民から寄せられる様々な動物問題の相談対応

本年度も多数の相談が寄せられた。相談内容の分野は多岐に渡り（家庭動物、学校飼育動物、畜産動物、展示動物、野生動物、動物取扱業等）、問題点の把握と指摘、関連法令等の説明をしながらの助言や提案には相当な時間と労力を要すが、問題意識を持ってくださり、心を痛めている相談者の精神的な負担軽減にも配慮し、メールや電話によるやりとりは密に行い、現場への同行や改善交渉、意見書や要望書の作成も行う等、可能な限り真摯に対応した。

## ◎迷子の犬を家に帰そうプロジェクト

所有者不明として行政施設に收容されたまま飼い主が判明せずに殺処分されてしまう犬の数を減らすことを目指し、平成21年9月より、所有者明示としての迷子札の重要性を含め殺処分問題について普及啓発を行ってきた「迷子の犬を家に帰そうプロジェクト」の活動は14年目となった。

令和4年6月1日からは、犬猫等の販売業者についてはマイクロチップの装着・登録が義務化され、一般の飼い主等についてもその努力義務が課せられたが、迷子札にはマイクロチップリーダーを使用しなくてもすぐに所有者がわかるという重要なメリットがあり、逸走してしまった場合はもちろん、災害などによる混乱下において円滑な保護活動が求められる場合にも優れた役割を果たしてくれる。万が一の事態に備えて幾十にも対策を講じることは重要であり、こうした観点からも、本年度も引き続き本プロジェクト特製の迷子札セット「迷子札&注射済票ホルダー（愛称：安心だワン！ホルダー）セット」は全国の自治体、動物愛護団体、個人の皆様よりご活用いただけた（約2万セット）。

また、犬や猫を迷子にさせてしまうことが希少な野生動物への深刻な危害にもつながってしまう沖縄県においては、同県による「一生うちの子プロジェクト」にて2017年度以降本プロジェクトの迷子札セットをご発注いただいております（令和4年度発注数：8千セット）、野生動物の保護という観点からも、一般の飼い主への普及啓発等のツールとしてご活用いただけた。

◎家畜福祉の普及啓発コミュニティへの参加

学識者、専門家、生産者、流通業者、消費者等で構成される家畜福祉の普及啓発等に取り組むコミュニティにおいて、事務局かつ役員としてコミュニティの運営に携わり、シンポジウムや農場見学会等の開催（オンライン）に際しては当日の運営スタッフを務める等尽力した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
定期刊行物誌等発行事業	会の活動全般にわたる動物問題について調査した内容を冊子にして発行。  (※発行に係る業務は行ったが本年度中の発行はなし)	—  (※)	事務所	2名	会員、全国の動物行政担当者、図書館、議員、メディア、動物保護活動に関心を寄せる一般市民など	—  (※)	250
動物、生命、環境に関する問題の調査研究及び法制度向上のための事業	事務所に寄せられる相談に対する助言等および問題解決に向けての調査活動、それにもとづく啓発普及活動の実施	随時	事務所、動物関係問題の発生現場など	3名	会員、当会に関心を寄せる一般市民など	不特定多数	1,375
動物の福祉推進向上及び普及啓発に関する事業	◎平成21年度に立ちあげた「迷子の犬を家に帰そう」プロジェクトにおいて、所有者不明により行政施設で殺処分される犬の数を減少させるため、当会特製「迷子札&注射済票ホルダー（愛称：安心だワン！ホルダー）」セットを作成し、自治体、愛護団体、個人等を通して全国で配布・普及。	随時	作成業務は事務所。配布は全国各地。	多数	犬の飼い主、全国の動物行政	約2万名	4,321

	<p>◎ホームページやSNS、ウェブメディア等にて活動や調査のレポートを連載。広く一般への問題提起ならびに普及啓発活動を実施。</p>	随時	事務所	3名	会員、動物保護活動に関心を寄せる一般市民、動物行政担当者、新聞社やテレビ局などのメディアなど	不特定多数
	<p>◎全国各地のイベント等において、動物たちをとりまく問題の提起などをテーマにしたチラシ配布やパネル展を実施。チラシ・リーフレットを独自に作成し、会員や一般市民を通して配布。</p>	随時	パネル、チラシ・リーフレットなどの作成業務は事務所。パネル展の開催やチラシ・リーフレットの配布は全国各地。	多数	会員、動物保護活動に関心を寄せる一般市民など	不特定多数

(2) その他の事業

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
—	—	—	—	—	—

## 活動計算書

令和4年 4月 1日 ~ 令和5年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
(一般正味財産増減の部)			
I 経常収益			
1. 受取会費			
一般会員受取会費	54,000		
賛助会員受取会費	0		
正会員受取会費	12,000		
終身会員受取会費	0		
法人会員受取会費	0		
学生会員受取会費	0	66,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	250,600	250,600	
3. 事業他収益			
動物福祉推進向上事業収益	1,570,620		
動物問題研究・啓発事業収益	1,200	1,571,820	
4. その他の収益			
受取利息	1,497		
雑収益	290	1,787	
経常収益計			1,890,207
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 迷子札			
迷子札部材	2,351,574		
迷子札製作	108,455		
迷子札計	2,460,029		
(2) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	2,806,318		
法定福利費	325,602		
人件費計	3,131,920		
(3) その他経費			
旅費交通費	111,348		
通信費	0		
印刷費	10,847		
製作費	0		
租税公課	0		
保管管理料	0		
荷造運賃	63,800		
新聞図書費			
消耗品費	0		
調査費	127,310		
活動費	0		
情報開示費用	0		

展示会費用	0		
会場費	0		
他団体支援・寄付	0		
諸会費	40,000		
雑費	0		
その他経費計	353,305	5,945,254	
事業費計			
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	0		
給料手当	2,951,391		
法定福利費	466,962		
人件費計	3,418,353		
(2)その他経費			
福利厚生費	3,672		
印刷費	0		
通信費	190,602		
荷造運賃	0		
会議費	0		
旅費交通費	252,432		
消耗品費	216,781		
図書資料費	101,556		
水道光熱費	166,242		
賃借料	1,427,556		
リース料	475,074		
保険料	0		
租税公課	227		
支払寄付金	0		
修繕費	0		
支払手数料	424,840		
雑費	2,908		
その他経費計	3,261,890		
管理費計		6,680,243	
経常費用計			12,625,497
当期経常増減額			△ 10,735,290
税引前当期一般正味財産増減額			△ 10,735,290
法人税等			70,000
当期一般正味財産増減額			△ 10,805,290
前期繰越正味財産額			32,281,898
次期繰越正味財産額			21,476,608
(指定正味財産増減額の部)			
指定正味財産期首残高			2,466,271
受取寄付金			0
一般正味財産への振替額			0
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期末残高			2,466,271
正味財産期末残高			23,942,879

法人名： 特定非営利活動法人 地球生物会議

## 貸借対照表

令和5年 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	22,025,207		
売掛金	0		
棚卸資産	2,376,180		
その他流動資産	0		
流 動 資 産 合 計		24,401,387	
2. 固定資産			
敷 金	217,080		
固 定 資 産 合 計		217,080	
資 産 合 計			24,618,467
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	536,569		
預り金	69,019		
未払法人税等	70,000		
仮受金	0		
流 動 負 債 合 計		675,588	
負 債 合 計			675,588
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
前期指定正味財産	2,466,271		
当期指定正味財産増減額	0		
指 定 正 味 財 産 合 計		2,466,271	
2. 一般正味財産			
前期繰越正味財産	32,281,898		
当期正味財産増減額	△ 10,805,290		
一 般 正 味 財 産 合 計		21,476,608	
正 味 財 産 合 計			23,942,879
<b>負債及び正味財産合計</b>			24,618,467
			0

# 令和4年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 地球生物会議

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日、2017年12月12日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の経理処理は、税込み方式により行っている。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	定期刊行物誌 等発行事業	動物問題 研究事業	動物の福祉推 進向上事業	研究調査助成	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費					0	66,000	66,000
2. 受取寄付金					0	250,600	250,600
3. 事業収益		1,200	1,570,620		1,571,820		1,571,820
4. その他収益					0	1,787	1,787
経常収益計	0	1,200	1,570,620	0	1,571,820	318,387	1,890,207
II 経常費用							
(1) 人件費					0		
給料手当	215,630	1,115,630	1,475,058		2,806,318	2,951,391	5,757,709
法定福利費	27,109	84,776	213,717		325,602	466,962	792,564
人件費計	242,739	1,200,406	1,688,775	0	3,131,920	3,418,353	6,550,273
(2) その他経費							
福利厚生費					0	3,672	3,672
旅費交通費	6,801	6,801	97,746		111,348	252,432	363,780
会議費					0	0	0
通信費					0	190,602	190,602
荷造運賃			63,800		63,800	0	63,800
消耗品費					0	216,781	216,781
新聞図書費					0	101,556	101,556
水道光熱費					0	166,242	166,242
賃借料					0	1,427,556	1,427,556
リース料					0	475,074	475,074
保険料					0	0	0
租税公課					0	227	227
支払手数料					0	424,840	424,840
調査費		127,310			127,310	0	127,310
活動費					0	0	0
情報開示費用					0	0	0
会場費					0	0	0
展示会費用					0	0	0
製作費			2,460,029		2,460,029	0	2,460,029
保管管理料					0	0	0
印刷費			10,847		10,847	0	10,847
諸会費		40,000			40,000	0	40,000
他団体支援、寄付					0	0	0
雑費					0	2,908	2,908
その他経費計	6,801	174,111	2,632,422	0	2,813,334	3,261,890	6,075,224
経常費用計	249,540	1,374,517	4,321,197	0	5,945,254	6,680,243	12,625,497
当期経常増減額	△ 249,540	△ 1,373,317	△ 2,750,577	0	△ 4,373,434	△ 6,361,856	△ 10,735,290

3. 使途が制約された寄付金等の内訳

使途が制約された寄付金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。

当法人の正味財産は23,942,879円ですが、そのうち2,466,271円は下記のように使途が特定されています。

したがって使途が制約されていない正味財産は21,476,608円です。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
研究調査助成事業	2,466,271	0	0	2,466,271	研究調査助成事業の活動資金
合 計	2,466,271	0	0	2,466,271	

4. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状況並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

人件費の按分方法

人件費は、その給与等を受ける者のそれぞれの事業に従事する割合に応じて、各事業費および管理費に按分している。

法人名： 特定非営利活動法人 地球生物会議

**令和4年度 財産目録**  
令和4年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	70,758		
小口現金	0		
普通預金 三菱UFJ銀行 駒込支店	731,556		
普通預金 朝日信用金庫 神明支店	4,803,659		
普通預金 みずほ銀行 駒込支店	1,611,248		
郵便振替口座	467,022		
郵便振替口座	1,700,500		
郵便貯金口座	1,164,663		
郵便貯金口座	3,001,098		
定期預金 朝日信用金庫 神明支店	4,906,131		
定期預金 みずほ銀行 駒込支店	3,568,572		
売掛金			
動物福祉推進事業売掛金(迷子ホルダー代金)	0		
棚卸資産			
動物福祉推進事業物品	2,376,180		
仮払金	0		
流動資産合計		24,401,387	
2. 固定資産			
敷金	217,080		
固定資産合計		217,080	
<b>資 産 合 計</b>			24,618,467
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金			
定期刊行物等事業印刷費未払金	0		
定期刊行物等事業制作費未払金	0		
迷子ホルダー制作費未払金	108,455		
調査費未払金	0		
給与未払金	428,114		
NTT他	0		
資料保管料	0		
預り金			
報酬に対する源泉所得税	9,189		
給与に対する源泉所得税	21,830		
住民税	38,000		
未払法人税等	70,000		
流動負債合計		675,588	
<b>負 債 合 計</b>			675,588
<b>正 味 財 産</b>			23,942,879



## 令和4年度 年間役員名簿

(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人 地球生物会議

## 1 確認事項 (法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

## 2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	○理事・監事	キムラ タシ 北村 孝至	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
2	○理事・監事	ミヤジ マコ 宮路 正子	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
5	○理事・監事	オモエ ヒロキ 大桃 道幸	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
3	○理事・監事	シトメ ミ 宍戸 美和	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
4	○理事・監事	ニシムラ トモ 西村 知子	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
6	理事・○監事	エゾエ ヒロミ 江副 裕美	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
7	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
8	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
9	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日
10	理事・監事		年 月 日 ～ 年 月 日	年 月 日 ～ 年 月 日

社員名簿 (社員のうち10人以上の者の名簿)

特定非営利活動法人 地球生物会議

	氏 名	
1	北村 孝至	
2	宮路 正子	
3	大桃 道幸	
4	和田 央子	
5	中浦 厚子	
6	知原 初美	
7	西村 知子	
8	カバリヤ まほ	
9	中条 春野	
10	菅原 三矢	
11		
12		